

【2010年度】番組審議委員会議事録

コミュニティチャンネルの自主制作番組について

開催年月日 2010年6月6日(日) 11:00~14:00

開催場所 さいたま市大宮区 大宮ソニックシティ 802会議室

出席者

放送番組審議委員

加藤和美、加藤千鶴子、菅原絵美子、平田信行、村松妙子、(敬称略)

株式会社JCN 関東

代表取締役社長 小田安利、取締役営業推進部長 岩田眞二、営業推進部 部長 渡辺聖治、
南支社長 伊藤仁、西支社長 熊木行雄、県央支社長 佐藤俊明、春日部支社長 中原勉、
越谷支社長 石渡一樹

ジャパンケーブルネット株式会社

メディア事業本部コミュニティコンテンツ運用部長 前多利博

メディア事業本部コミュニティコンテンツ運用部マネージャー 岩下憲巳

事務局

コミュニケーショングループ 6名

欠席者 放送番組審議委員

大竹良夫、八鍬孝博、(敬称略)

議事内容

1. 報告事項

昨年度の事業概要と今後の新サービスについて

JCN グループの概要とコミュニティチャンネル運営方針について

コミュニティチャンネルの自主制作番組について

2. 審議事項

自主制作番組についてその他

■JCN 関東の自主制作番組に関する意見・感想等(抜粋)

(1)「まちネタ！」

自分が在住している市でも知らない情報がある。

他市での出来事など身近に役立つ貴重な情報でいいと思う。

手話通訳が入っていてもいいのではないかな。

仕事柄、街のアピールや活性化を考えているため、「まちネタ！」で取り上げられることはありがたい。行政側からも観光情報等を発信していかなければならないと感じた。

広報では紹介しきれない情報など色々と紹介されていて良いと思う。

広報と公聴が分かれている市だが、連絡を取り合って紹介してほしい。

商工会も特産物の紹介などいろいろな活動をしているので、取り上げてもらいたい。

エリアが一部地域だけなので、早く広域にエリア拡大をしてほしい。

事後の結果報告といったイベント紹介が多い。

小さなイベントでも市民のインタビューや参加者の顔をもっと表に出したほうが良いと思う。

事前にわかっていたら行ってみたいイベントが多い。

来月のイベント情報など事前 PR をもっと放送してもいいのではないかな。

在住地の情報だけでなく近隣でも「面白そう」と思えば出かける気分になる。実際に行ったイベントがその後放送されると、また違った感覚でテレビが見られると思う。

(2)「林家三平の日帰り彩前線」

三平師匠の番組は非常に楽しみにしている。

エリア内に限らず県内を広く紹介しており、施設の紹介もわかり易くとても参考になる。

実際にテレビを見て温浴施設に行ったこともある。

(3)「彩の国シネマ通り」視聴

今回の紹介はちょっと時間的に長い、間延びした印象を受けた。

→通常は「この人この店コレクション」というコーナーを挟むが、今回はなかったのが長く感じたのかもしれない。ぜひ、他の店舗の紹介も見てほしい。

紹介に広告料はかかっているのか。また飲食店だと情報も多いのではないかな。

→料金はかからない。また当社の PR 不足もあるが提供される情報だけではまだ厳しい。

いただいた情報は極力紹介したいが、全て取り上げられるわけではない。放送終了後に実施しているアンケートでは、来店者数が増えた、遠い場所から足を運んでくれた、という回答もいただいている。

→VOD 始めると、過去に放送した番組のラインナップを見ることができるようになるため自分で行きたい店舗の番組を見られるようになる。

(4)「その他」

サービスエリアが歯抜けになっていて、見られないという話をよく聞く。今後拡大の予定はあるか？

→新規エリアは投資対効果を考えながら図りたい。

スタジオなど番組を制作している施設を実際に見学することはできるのか。

→スケジュールさえ合えば是非ご覧いただきたい。

視聴者が撮った映像が放送されていたがナレーションやテロップなど何も無くそのまま放送されていた。一部の参加者以外楽しめないと思う。

→「市民映像コンテスト」の応募作品をそのまま放送している。今後の放送の参考意見にさせていただきたい。

お天気・交通情報も文字だけでなく一言コメントが付いていればと思う。

モノを作っている番組はテロップが入っていてわかり易い。

文字情報に音声が無いのは意味があるのか。「次は〇〇市です」という声だけでもあればわかり易いと思う。

→システムの音声は入らない。表示方法などを検討し見やすくなるようは調整していきたい。

(5)「歴史ウォーキング」視聴

木村 P：リタイア世代に向けての番組と考えている。出演の奥野さんが実際に歩いたコース等を取り上げており、「埼玉あるけ通信」（NPO 法人埼玉県ウォーキング協会）でも番組紹介を頂いている。

駒塚 GM：年配の方に人気がある番組で、頂いたご意見は番組に素直に取り入れるようにしている。例えば、歩くシーンが少ないとか、地図が見えにくいなどに対しては、すぐに改善して対応している。

平田委員：確かに歩く姿が少ないように感じる。地図は分かり易い。

奥原：地図はホームページでのダウンロードが可能。各見所も記載している。

梶並委員：夫も当番組をよく見ている。民放などの旅番組は地元の方の声がある。この番組でも、そのような地元の声が入るといい。

駒塚 GM：シーズン 5 で県内のコースは概ね一巡した感じがしている。

(6)「ペット館」視聴

高科 P：ペットであればどんな種類の動物でも紹介している。芸ができる等は取材と関係はない。おもしろいと言うよりは、和んで頂きたい番組と考える。

CATV の良いところは、参加している人のコメントをもらうこと。

CATV は街中のちょっとしたエピソードを取り上げているため、そこに街の人のコメントが入ると深みが出る。街のイベントを応援するスタンスでやりたい。

事前、途中、終わった後とフォローして、近隣情報も関連付けた放送ができるといい。

これから取材要員を増やして情報収集能力を高め、きめ細やかに対応していきたい。

まとめ

本日いただいた貴重なご意見を吸収し、これからの各出来事を上手に番組として放送していきたい。

以上